

福住正兄 （教員） 國學者、歌人。文政七年八月（二十一）箱根國入住部
片岡村生れ、明治二十五年五月（二十）歿（八四・九二）。善姓大澤、通
稱大澤政吉、久良治、福住久藏。號わづのや、わづの舎、ふくのみ福
翁、福のみ福翁、福翁、萬翠樓、蛙園等。少時俳人森百龜、歌人原久
胤、儒者千賀桐蔭に學ぶ。弘化元年（一宮尊徳の門に入り報徳仕法を學
ぶ。のち箱根湯本の温泉旅館福住家の養子となりて家業を復興。嘉永
四年吉岡信之に師事、元治元年平田篤胤の歿後門人となり、更に鈴木
重胤、權田直助に國學、神道を學んだ。慶應元年小田原藩鑿集成館
の國學一等助教。維新後と報徳運動を指導、富田高慶、齋藤尚行、岡
田良一郎と共に尊徳門下の四人入と稱せられた。また史跡保存など箱
根觀光にも貢獻、一方同好と共に歌道の發展にも努めた。

著書『戒すゝめ』（明治八年六月序、書肆水野慶治郎・高橋松之助）、

『報徳』、『宮尊徳翁略傳』（大澤彦一筆記、明治十六年五月十五日靜岡

・報徳學圖書館藏版）、『善應報鑑』（附報徳會歌）、『明治十九年六月

（一）靜岡報徳社）、『蛙園疑詞集』（原依寛編、明治二十四年七月）報

徳 福運社藏板、再版。四十一年四月（二十）靜岡・報徳學圖書館）、『報

徳學内記』（明治二十四年九月十五日神奈川・報徳會福運社）、『一

宮翁夜話』（佐々井信太郎編、昭和八年六月（二十五日）増補版・十六

年（一月十五日）岩波書店『岩波文庫』）等。佐々井信太郎著『福住正

兄翁傳』（大正十二年四月十日神奈川・報徳文庫）がある。